

# 豆田町並み通信

第41号

発行者  
豆田町伝建  
保存会  
24年3月

## 保存修理事業進む！

平成二十三年度に終了した伝建保存修理事業は、二力年の継続事業で進められた柞原家の土蔵(基礎工事となる水路護岸の修理は平成二十二年度に終了)と、二十三年度の単年度事業で進められた草野家長屋の原商店と早羅(旧いわし倶楽部)の二件の修理事業で、草野家長屋の二件はこの二月よりの「雛まつり」にあわせて営業を始めています。



二ヶ年事業で完成した柞原家土蔵(水路護岸は前年完了)



残りの二件について、岩尾家の離れ座敷は地盤が軟弱なため土台から補強するため、また赤司家の主屋は修理物件が二棟に及ぶ事からいずれも二ヶ年の継続事業となり、現在も修理が進められています。

この結果、七年間の修理実績は伝建事業による建物修理三十四件(継続分二件を含む)、工作物二件、環境物件一件、街なみ環境整備事業による建物修理九件、同事業の工作物修理四件を合わせて、五十件となります。



2月より営業を始めた原商店と早羅

## 防火訓練を実施！

一月二十六日(木)、文化財保護防火デーに合わせて、豆田町伝建保存会主催による「防火訓練」が豆田の辻公園で行われました。

保存会役員や住民三十名が参加し、辻公園横に設置された屋外消火栓の操作方法を教わったあと、参加者全員による「放水訓練」が行われました。

参加者の皆さんは、放水体験を実際に行った事で、「放水までにどのくらい時間がかかるのか、筒先のひねり具合で水量がどう変化するのかが分かった」などと感想をのべていました。



花月川に向かって放水訓練を行う参加者

## 初午祭行われる！

二月三日(金)、広瀬家駐車場横に建てられた源兵衛稲荷で、初午祭がまだ残雪が残るなか地元住民二十名が参拝して行われました。

この源兵衛稲荷は、宝永五年(一七〇八年)に広瀬家二世の広瀬源兵衛が京都の伏見稲荷に直接勧請して、末社として建立し以来三百年続く由緒あるもので、平成十一年五月に咸宜園の敷地にあったものを現在の位置に移築したものです。

この日は橋本神官が、豆田地区の繁栄を祈願して祝詞を奏上し、広瀬資料館の関係者や地域住民が玉串を奉納しました。



家内安全と商売繁盛を願う参拝者の皆さん

# 「流し雛行事」に全国各地より!

三月四日(日)に桂林荘公園内で行われた豆田観光協議会主催の「流し雛」には、前日の雨にも関わらず八五〇名が参加しました。

参加した長崎からの親子連れは、『「サザエさん」の主題歌のなかで映し出される雛流しを見てぜひ参加したいと思ってきました。子供達も感動しています。』と話していました。

広島県福山市や大阪府東淀川市からのツアー客も紙の「流し雛」に家族が健康でありますようになどの願いを書いて城内川に設置した特設舞台から流していました。



勉強が出来ますようにと願い事を書く子供達



特設舞台から「流し雛」に願いを込めて

又、台湾から来た観光客も流し雛の由来を聞きながら、漢字で書いた『願い雛』を流していました。

豆田観光協議会では「今年は天候が悪く公園内での野点が出来なかった事は残念だが、地域の皆さんを含め全国から多数参加して頂いた事は、豆田の流し雛が認知されたのではないかと来年は節目の三〇回となるのもっと充実したイベントを開催したい。」と話していました。

来年の「天領おひなまつり」は

記念の三〇回

やってほしい企画アイデアを

豆田観光協議会事務局まで連絡を

ホテル風早 ☎ 二二二二二二二二(武内)



# 豆田町を視察に!

二月十七日(金)、宮崎市高岡町の「天ヶ城麓地区」の住民十三名(行政関係者を含む)が豆田町を視察に訪れました。この地区は旧薩摩藩の外城があり、武家屋敷や石垣などの歴史的景観が残る地区です。

豆田町伝建保存会から役員二名が応対し、これまでの豆田地区に於ける活動の歴史、伝建地区に選定されて町がどう変わったのかを説明しました。

高岡町のまちなみ整備住民協議会の松木正憲会長は、「昨年よりまちづくりの為にガイドラインを作成するなどや」と動き始めたばかりです。今日の話参考にまちづくりに生かしてゆきたい」と話されました。



話をビデオに撮るなど熱心な高岡の皆さん

# 韓国光州市より視察!

三月八日(木)、日本の歴史文化都市の先進地事例として豆田の町おこしを学ぶため、韓国光州市の自治団体や景観研修機関のメンバー四十六名が視察に訪れました。

豆田町伝建保存会から木下副会長と赤司事務局長が応対し、これまでの町おこしの経過を報告しました。

一行は市役所で説明を受けたあと、豆田の町並みを見学しました。



豆田の町おこしを研修する光州市の皆さん

締め切り迫る

豆田の四季・写真コンテスト

平成二十四年三月三十一日まで

写真の大きさ(2L、A3)

日田市豆田町十三一四

豆田町伝建保存会事務局

☎ 二二二二二九一三 木下まで